

平成23年度がん対策関係予算

がん対策関係予算 580億円(559億円)

厚生労働省 343億円(☆316億円)
文部科学省 ☆197億円(172億円)
経済産業省 40億円(☆71億円)

※()書きは平成22年度予算額

がん対策推進基本計画

全ての患者・家族の安心

がんによる死亡者の減少
(20%減)

全てのがん患者・家族の
苦痛の軽減・療養生活の質の向上

重点的に取り組むべき事項

厚120億円

がんの早期発見

受診率50%

厚18億円

がんの予防

未成年者の
喫煙率0%

放射線療法・化学療法の
推進、これらを専門的に
行う医師等の育成

厚36億円

文20億円

すべての拠点病院で
「放射線療法・外来化学療法」
を実施

治療の初期段階からの
緩和ケアの実施

厚 4億円

すべてのがん診療に携わる医師に
緩和ケアの基本的な研修を実施

がん登録の推進

院内がん登録を行う医療機関数の増加

医療機関の整備等

厚1億円

原則、すべての2次医療圏に拠点病院を設置し、
5大がんの地域連携クリティカルパスを整備

厚 9億円

がん医療
に関する
相談支援・
情報提供

すべての
2次医療圏に
相談支援センター
を設置し、研修を
修了した相談員
を配置

がん研究

厚68億円

文177億円

経40億円

(独)国立がん研究センター

厚87億円

★ 文部科学省予算197億円の外、科学研究費補助金(2,633億円の内数)によるがん研究がある。

※四捨五入の関係で合計が合わないことがある。

☆ 平成22年度補正予算として、厚生労働省358億円、経済産業省63億円(特別枠要望事業を中心に前倒し、加速化)を別途計上

※ 地方交付税措置(平成22年度)：がん検診事業 1,300億円程度、女性特有のがん検診推進事業 76億円程度

※ がん医療費(平成19年 国民医療費)：2兆6,958億円